

事前評価書

1 事業名 畑地帯総合土地改良事業	地区名・路線名等 伊良湖 2 期														
2 事業概要 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">(1) 位置</td> <td>田原市</td> </tr> <tr> <td>(2) 規模・内容</td> <td>農業用排水路施設（用水路） 2 3 . 6 km 農道 2 2 . 4 km</td> </tr> <tr> <td>(3) 事業期間</td> <td>平成 2 1 年度から平成 2 6 年度まで</td> </tr> <tr> <td>(4) 事業費</td> <td>720 百万円</td> </tr> </table>		(1) 位置	田原市	(2) 規模・内容	農業用排水路施設（用水路） 2 3 . 6 km 農道 2 2 . 4 km	(3) 事業期間	平成 2 1 年度から平成 2 6 年度まで	(4) 事業費	720 百万円						
(1) 位置	田原市														
(2) 規模・内容	農業用排水路施設（用水路） 2 3 . 6 km 農道 2 2 . 4 km														
(3) 事業期間	平成 2 1 年度から平成 2 6 年度まで														
(4) 事業費	720 百万円														
3 必要性 <p>本地区の用水は、昭和 4 0 年代にパイプライン化されているものの、老朽化が激しく維持管理に非常に苦慮している現状にあります。また、道路は未舗装の区間も多く残されており、農作物の荷痛みも見られます。</p> <p>このため、安定した高品質な農作物を供給に支障をきたしており、本地区を整備していく必要があります。</p>															
4 事業効果（費用対効果分析のある場合） <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">(1) 評価期間</td> <td>46 年</td> </tr> <tr> <td>(2) 基準年度</td> <td>H20 年度</td> </tr> <tr> <td>(3) 基準年における総費用（C）</td> <td>3, 195, 460 千円</td> </tr> <tr> <td>(4) 基準年における総便益（B）</td> <td>3, 876, 818 千円</td> </tr> <tr> <td>(5) 便益の内訳</td> <td>作物生産効果、維持管理費節減効果、 営農経費節減効果、品質向上効果、 走行経費削減効果</td> </tr> <tr> <td>(6) 費用対効果（B / C）</td> <td>1. 21</td> </tr> <tr> <td>(7) その他</td> <td></td> </tr> </table>		(1) 評価期間	46 年	(2) 基準年度	H20 年度	(3) 基準年における総費用（C）	3, 195, 460 千円	(4) 基準年における総便益（B）	3, 876, 818 千円	(5) 便益の内訳	作物生産効果、維持管理費節減効果、 営農経費節減効果、品質向上効果、 走行経費削減効果	(6) 費用対効果（B / C）	1. 21	(7) その他	
(1) 評価期間	46 年														
(2) 基準年度	H20 年度														
(3) 基準年における総費用（C）	3, 195, 460 千円														
(4) 基準年における総便益（B）	3, 876, 818 千円														
(5) 便益の内訳	作物生産効果、維持管理費節減効果、 営農経費節減効果、品質向上効果、 走行経費削減効果														
(6) 費用対効果（B / C）	1. 21														
(7) その他															
5 事業をめぐる社会情勢 <p>本地区は、農業生産額が全国 1 位の田原市の西部に位置し、畑作が盛んな地域となっております。機構営豊川用水二期事業の関連地区であり、関連工事について同時期に行うことが必要となっております。また、営農の安定化を図るためにも、地元から大きく期待されています。</p>															
6 その他特記事項 特になし															